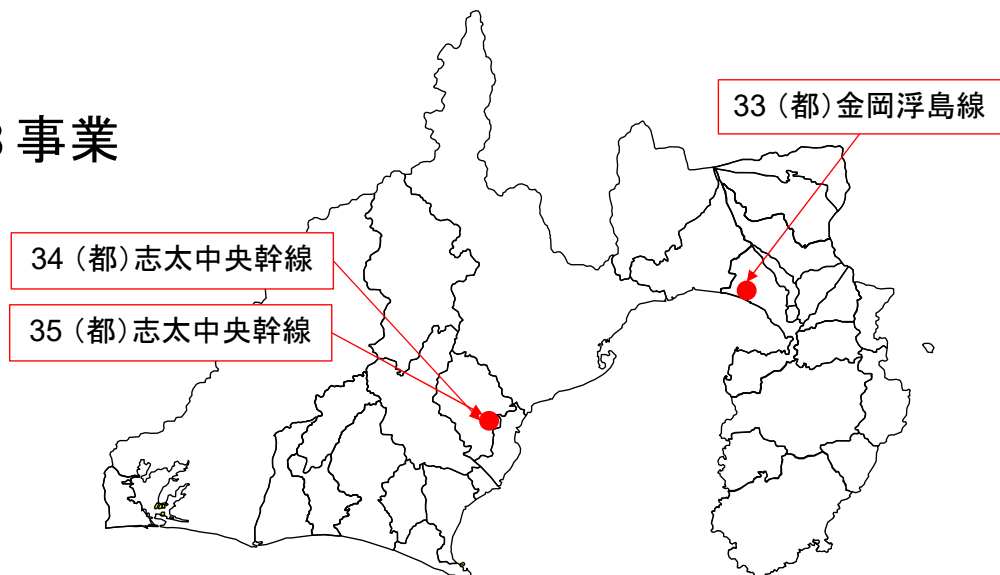


番号	33	令和8年度公共事業再評価調書					担当課名	街路整備課																									
事業名	街路整備事業					事業主体	静岡県																										
ふりがな	としけいかくどうろ かなおかうきしません ひがしはらこうく					関係市町	沼津市																										
箇所名	都市計画道路 金岡浮島線(東原工区)																																
事業採択年度	令和4年度		計画期間		令和4年度～令和10年度																												
用地着手年度	令和4年度		工事着手年度		未着手																												
再評価理由※	事業採択(R4)後5年経過																																
全体事業費	百万円 4,289	投資状況 (百万円)	～R6年度 267	R7年度 368	R8年度見込 205	計 839																											
事業概要	(1)事業目的 ・本路線は、沼津市西沢田から富士市との行政界に至る都市計画道路であり、都市の骨格を形成するとともに、富士市市街地とを結ぶ都市間ネットワークの役割を担っている。 ・当該箇所近隣には小・中学校が位置しているが、本路線に並走する県道三島富士線は道路幅員が狭隘で歩道がない状況にある。 ・本事業は、県道三島富士線のバイパスとして整備し、交通の円滑化および歩行者・自転車通行の安全確保を図るものである。 (2)事業内容 施工延長：557.2 m 道路幅員：20 m 道路工：557.2 m 車線数：2 車線																																
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・東名高速道路愛鷹スマートICの開通(H28.3)、新東名高速道路駿河湾沼津スマートICの開通(H29.3)による沼津市周辺へのアクセス性向上 ・ららぽーと沼津のオープン(R1.10)による地域経済活性化 ・アニメ作品(ラブライブ!サンシャイン!!)の聖地巡礼の効果により、コロナで減少していた観光客数は、R2年度の約202万人がR6年度時点で約344万人まで回復 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果(令和8年度時点) <table><tr><td>B/C(i=4%)</td><td>参考:B/C(i=2%)</td><td>参考:B/C(i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>1.3</td><td>2.3</td><td>3.5</td><td>5.3%</td></tr></table> ・総便益(B)52.7億円(走行時間短縮便益:39.3億円、走行経費減少便益:12.9億円、交通事故減少便益:0.4億円) ・総費用(C)39.9億円(建設費:42.6億円、維持管理費:0.25億円、用地残存価値:-2.93億円) ○見込まれる効果(定性的な効果) ・交通の円滑化 ・歩行者や自転車の安全確保 ・都市間ネットワークの形成 (3)事業の進捗状況(令和8年度見込み) <table><tr><td>区分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内訳</td></tr><tr><td>事業費</td><td>19.6%</td><td colspan="2">(839百万円 / 4,289百万円)</td></tr><tr><td>事業量</td><td>道路工</td><td>0.0%</td><td>(0m / 557.2m)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>41.6%</td><td colspan="2">(4,069㎡ / 9,780㎡)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C(i=4%)	参考:B/C(i=2%)	参考:B/C(i=1%)	EIRR	1.3	2.3	3.5	5.3%	区分	進捗率	内訳		事業費	19.6%	(839百万円 / 4,289百万円)		事業量	道路工	0.0%	(0m / 557.2m)	用地取得	41.6%	(4,069㎡ / 9,780㎡)		評価	継続が妥当
B/C(i=4%)	参考:B/C(i=2%)	参考:B/C(i=1%)	EIRR																														
1.3	2.3	3.5	5.3%																														
区分	進捗率	内訳																															
事業費	19.6%	(839百万円 / 4,289百万円)																															
事業量	道路工	0.0%	(0m / 557.2m)																														
用地取得	41.6%	(4,069㎡ / 9,780㎡)																															
評価	継続が妥当																																
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 現在、早期の事業完了に向けて地権者との交渉を重ねており、用地取得率は令和8年度末時点で41.6%となる見込みである。 整備に対する地域の期待も高いことから、早期の完成・供用を目指して、用地交渉を進めていく。段階的に整備効果が図られるよう、一連の用地が確保できた箇所から順次、工事に着手していく。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																								
評価	継続が妥当																																
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 軟弱地盤対策には、AliCC工法(低改良率セメントコラム工法)を採用することでコスト削減や工期短縮が期待できる。																																
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を【継続】する。 (2)理由 本事業は新設バイパスにより、当該箇所の交通の円滑化、歩行者・自転車通行の安全確保を図るものである。 本路線は、投資効果が高く、県市の道路事業、街路事業が連携して整備を進めている。 整備に対する地域の期待も高い上、地権者も協力的であり、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。																																

令和8年度 公共事業再評価

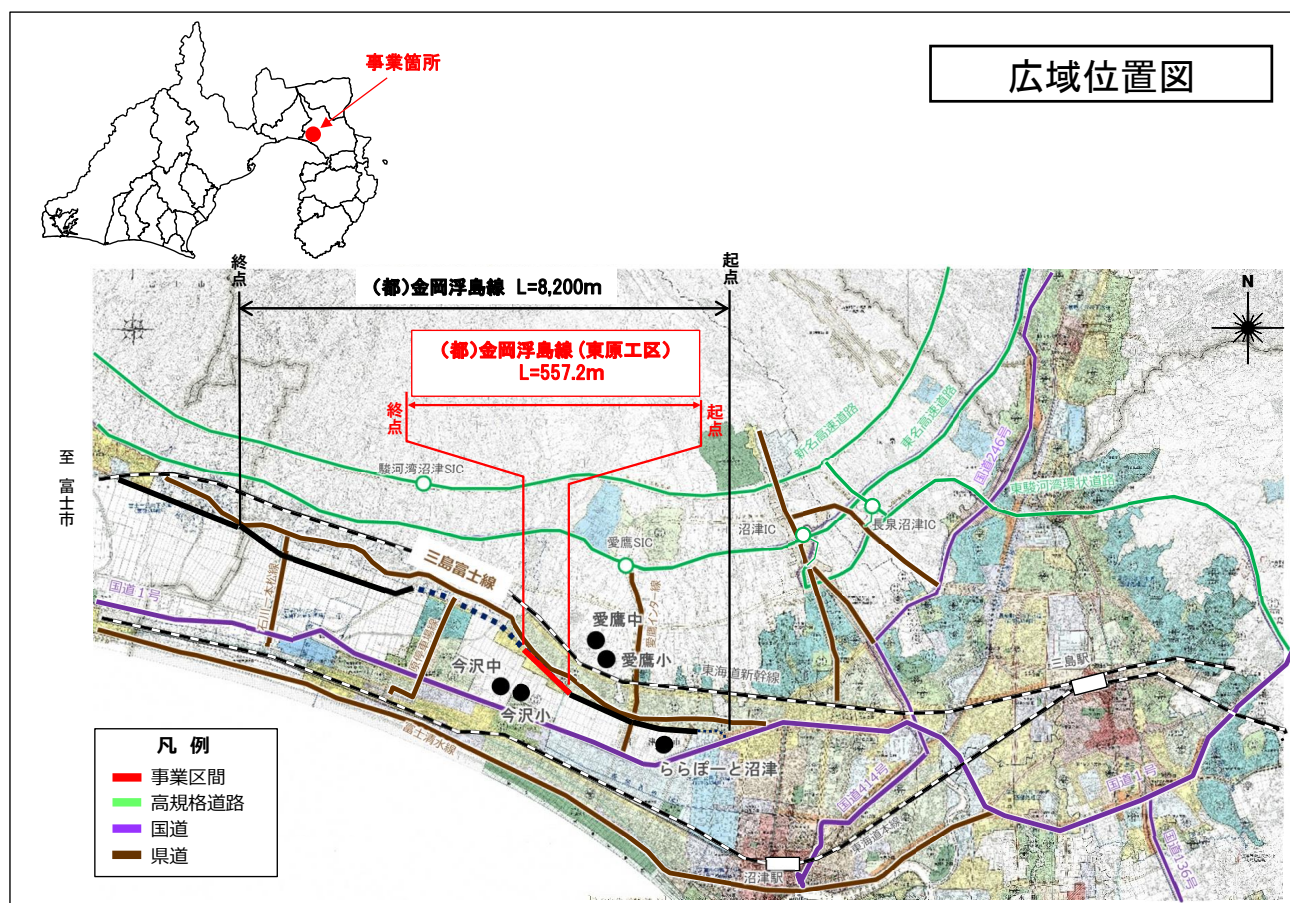
街路事業：3事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
33	街路事業	都市計画道路 金岡浮島線（東原工区）	
34	街路事業	都市計画道路 志太中央幹線（左車工区）	
35	街路事業	都市計画道路 志太中央幹線（大手・郡工区）	

交通基盤部 都市局 街路整備課

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



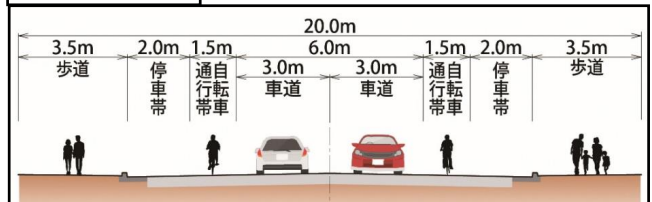
事業目的

- ・（主）三島富士線で慢性的な交通渋滞が発生しているため、本事業のバイパス整備により、**交通の円滑化**を図る。
- ・歩道及び自転車通行帯の整備による、**歩行者、自転車通行の安全確保**を図る。

事業内容

- ・計画期間：令和4年度～令和10年度
- ・事業区間：延長557.2m
- ・道路幅員：20m
- ・車線数：2車線
- ・事業費：4,289百万円

横断図等



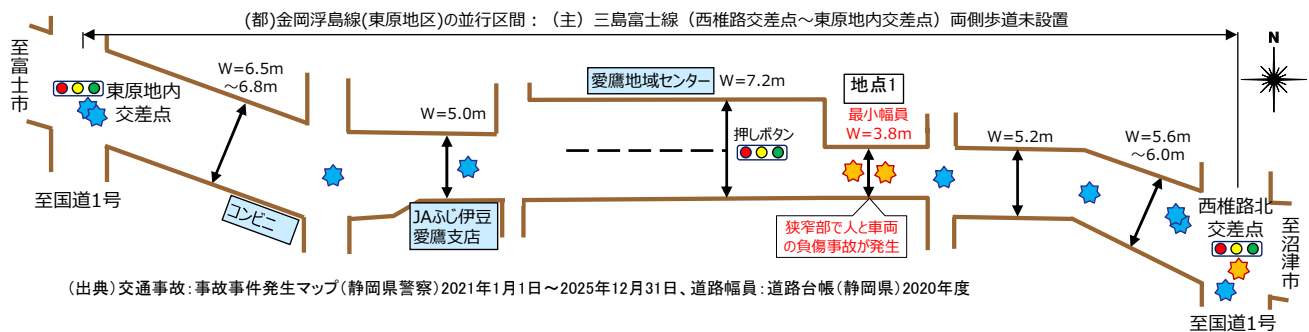
写真①



写真②

3. 事業の必要性（事業の効果）

（都）金岡浮島線（東原地区）の整備により並走する（主）三島富士線の交通量の分散が図られ、慢性的な交通渋滞の緩和（交通の円滑化）に寄与する。また、歩道及び自転車通行帯の整備により、自動車と歩行者、自転車が構造的に分離され、歩行者および自転車の安全が確保される。



（出典）交通事故：事故事件発生マップ（静岡県警察）2021年1月1日～2025年12月31日、道路幅員：道路台帳（静岡県）2020年度

慢性的な交通渋滞



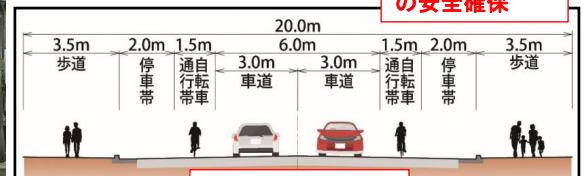
バス等の大型車走行時は対向車線に通過待ち停止車両が発生

車両と歩行者が輻輳



車両と歩行者が混在し、歩行者の通行の安全性が懸念

歩行者・自転車の安全確保



交通の円滑化

4. 前回からの変更点・理由

前回からの変更点・理由

区 分	※前回（R4）	今回（R8）	主な変更理由
①計画期間	R4～R10	変更無し	—
②全体事業費	4,289百万円	変更無し	—

※今回が初めての再評価のため、事業採択時評価の内容を記載

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

都市計画道路金岡浮島線(東原工区) 地元説明会

(第1回)

日 時：令和4年7月15日(金) 19:00～

場 所：愛鷹地区センター 大会議室

出席者：地権者及び周辺地区住民（西椎路自治会）25名

(第2回)

日 時：令和4年7月21日(木) 19:00～

場 所：愛鷹地区センター 大会議室

出席者：地権者及び周辺地区住民（東原自治会）47名

事業全体のスケジュール



※全体として、10～12年程度の事業期間を想定しています。

いっしょに、未来の地域づくり。 New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県建設部



(第1回地元説明会) 令和4年7月15日



(第2回地元説明会) 令和4年7月21日

6 . 対応方針（案）

本事業は、

- 新設バイパスにより、交通の円滑化、歩行者・自転車通行の安全確保を図る。
- 整備に対する地域の期待も高く、さらに事業の投資効果も見込まれる。
- 費用便益比は（B/C）は、1.3である。

以上から、事業効果が大きい。



事業を継続する